

89-161597/22 E33 J04 102 E(31-P58) J(1-D1, 1-E3C, 4-E3) L(2-A2)

DENKI KAGAKU KOGYO KK

-15-10-87-JP-258361 (21.04.89) B01i-20/10 B01i-21/16 C01b-33/24
Synthesised calcium silicate hydrate used as moulding aid - obt. by
reacting fine particles contg. amorphous silicon dioxide and
kneaded prod. contg. calcium hydroxide and water
C89-071607

ELED 15.10.87

*J0 1103-914-A

Synthesised silicate hydrate is obt. by reacting fine particles contg.
amorphous silicon dioxide as main component and a kneaded prod.
contg. calcium hydroxide and water as the main components. The
produced synthesised calcium silicate has specific surface area of at
least 100 m²/g.

The fine particles contg. amorphous silicon dioxide are pref. silica
dust (silica fume) or siliceous dust having the ave. particle size of
around 0.1 microns.

USE/ADVANTAGE - Synthesised calcium silicate having big
specific surface area can be obt. by simply kneading the mixt. at
normal temp. und normal pressure into paste condition and leaving
it. The produced synthesised calcium silicate hydrate is useful as a
moulding aid, a thickener, a catalyst support, an adsorbent and a
filler. (3pp Dwg.No. 0/0)

本器即以用以考非晶質二酸化矽之素成分子也
其為微細粒子狀，而入口於此中全無之口也。

本發明係上記問題の解決を目的とする、その構成
体、非晶質二酸化ケイ素を主成分とする微細粒子、
水酸化カルシウム及び水素主成分とする微細粒子、
及ぶ、その比表面積が100m²/g以上の
反応性セラミック複合材を含成する水和物

新編古今圖書集成·醫學編·本草綱目卷之三 (新編古今圖書集成·醫學編·本草綱目卷之三)

⑥Init, CI, ④公用 平成1年(1989)4月21日
⑤机架号 ⑥内部管理番号 ⑦公算 平成1年(1989)4月21日
C 01 B 33/24 101 6750-4G A-6939-4G Z-8618-4G
20/10 21/16
// B 01 J 33/24 101 6750-4G A-6939-4G Z-8618-4G
20/10 21/16
審査請求 未請求 裁明回数 1 (全3頁)

◎ 企劃部公報 (A) 平1-103914

19 日本国特許庁 (JP) 特許出願公開

④透明の名前 合成分子からなる水和物

21/16 46-8618-2

C 01 B 33/24 101 6750-44

卷之三

增補圖說

中華書局影印

卷之二十一

本器皿适合成分为水与乙酸乙酯、特此此
类面糊水大考《、成形助剂、增粘剂、触媒组分、
吸着剂、无毒材料等乙使用去处适合成分为

(圖書上的利用方法)

3. 要因の説明水銀

非晶質二維化物トテラキ酸主成分分子と微細粒子、水酸化カルシウム及び水素主成分分子と微細粒子、炭酸カルシウムと得た結果、比表面積約100 m²/g以下の合成繊維粒子と水和物。

2. 特許請求の範囲

合成分子離子與水和物

1. 瑪麗的名字

卷二

(宋史)

此表面積以 N^2 數者表示測定之法。

• 27 •

乙の反應式生成式と水和物達式と乙の生成式
乙の反應式生成式と水和物達式と乙の生成式
此種原料の配合比は乙の生成式と乙の生成式と
乙の反應式生成式と水和物達式と乙の生成式
1.5-2步驟。
得る水合生成物と酸式水和物と水和物達式
小字）、原料の C_2O/SiO_2 と此比 0.60
混合化合物、得る水合物の比表面積は 1000
/g 以上である。非晶質二氧化矽を主成分
とする微細粒子が乙の混合、水酸化
法による製造法。

浓度：10% / min. 、 露点仪：Hg gas 100 ml /

水和物の固定化X線回折を行ふ。強熱減量は1.000%、1時間で固定化し、未反応の水酸化物は約0.002%である。測定条件は以下の通りである。試料量: 1.0~2.0g、昇温

150 atm / g 以上に達した。一般化、反応の進行
と共に比表面積が更に増大する。
測定方法非晶質二酸化炭素による方法
は、一従来用いられてきた方法である。
試料は所定の期間水和した後、700°Cで水和
を停止し、-50°Cの水蒸気圧下で1時間以上乾
燥してから測定を行った。

の副生物の平均乾燥量 0.143kg/m²の球状粒子で
2.62kg/m²の表面積で算出する。一方、
大半の水和反応は水の供給量より多く、
水と水素の反応が主な反応である。水
は水素の水和反応で約 0.17kg/m²の反応力率(=水
品質二酸化化水素と水素生成量と水蒸発量の比)で
計算する)で計算される水蒸発量を用いる。非
晶質水素化物と水蒸発量を用いて、(過剰水分量を組合
する)水蒸発量を計算すれば、以下が得られる。
水と水素の反応で、水の供給量より多く、
水と水素の反応が主な反応である。水
は水素の水和反応で約 0.17kg/m²の反応力率(=水
品質二酸化化水素と水素生成量と水蒸発量の比)で
計算する)で計算される水蒸発量を用いる。非
晶質水素化物と水蒸発量を用いて、(過剰水分量を組合
する)水蒸発量を計算すれば、以下が得られる。

代理人 先博士 稲木定子
特許出願人 電気化學工業株式会社

III-2 水和物の性質。

本發明は、電気炉、電圧200V-1Aで、炉底に

(発明の効果)

原 料		生 成 物		組成比 (重量比)		Ca(OH) ₂ 重量比		CaO/SiO ₂ 重量比		Ca(OH) ₂ 重量比	
1	1	2	0.4	0.6	1.75						
1	1	1	0.8	0.9	5.5						
2	1.6	1.6	1.5	9.5							
						2-2	CaO/SiO ₂	CaO/SiO ₂	Ca(OH) ₂	Ca(OH) ₂	

第 2 表

特開平1-103914(3)

原 料	生 成 物	組成比 (重量比)	Ca(OH) ₂ 重量比	CaO/SiO ₂ 重量比	Ca(OH) ₂ 重量比
1	2	0.4	0.6	1.58	
1	1.5	0.6	0.75	1.10	
1	1	0.8	0.9	4.5	
2	1	1.6	1.5	4.5	

第 1 表

物 3% の Fe₂O₃、CaO 2.8% の -1 毫メートル。

石英を含む電気炉。電気炉に外因外の構成物を含む
物 9.0% の、そのうち非晶質部分以外は物 3% の
石英、使用する電力 7.5-1A 以上で、含有量